

カナダレポート①

湧別高校1年 佐々木 遥

カナダに来てからもう1ヶ月が過ぎました。始めは戸惑うことが沢山あり、そして不安も沢山ありました。でも、それ以上に沢山の新しいことがありました。また、新しく気づかされたこと、日本に居たら気づくのが遅かったであろうことなど、自分自身を成長させてくれる出来事もありました。その中でもカナダと日本の学校との違いや、自分自身を成長させてくれた出来事について書きたいと思います。

まず、カナダに来て気づかされたことは家族の大切さ、友達の大切さです。当たり前ではありますが、自分の中ではとても大切なものと気づかされました。当たり前に関係と出掛け、ときには本気でぶつかり合ったこと、また友達との何気ない会話、それにふざけあった日々がとても自分には大きいものだと気づかされました。当たり前過ぎて気づきもしませんでした。カナダに来て本当に大切なものは、自分のすぐ近くにあるということに気づかされました。

学校生活では、日本とは沢山の違いがあります。例えば、授業のほとんどが電子黒板で進められていたり、日本の高校だったら毎日のように変わる時間割ですが、カナダの高校は毎週同じ時間割です。また、日本の高校生の1時間の授業は一コマ50分ですが、カナダの高校は一コマ1時間あります。日本からみたら長い授業だと思う人もいると思いますが、この一コマの授業が5時間あり、3時間目の授業が終わるとランチなのでとても短く感じますし、集中力も続く気がします。毎週同じ時間割で5時間あり、日本のように6時間授業がありません。なので、移動教室でほんの少し大変かなと思っていたのですが、すごくスムーズに動いていてとても過ごしやすいです。私が専攻しているクラスの人達は皆、優しくとても授業を受けやすく過ごしやすいです。特に数学の先生は、私にもしっかりとわかるように説明をしてくれるので、今までは苦手だった数学も少し好きになりました。また、数学では計算機を使います。そこが普通科の高校にはない違いだと思いました。カナダの人達はとても優しく私が疑問に思っていることでも、わかりやすく説明してくれます。それに、これは日本語でなんて言うの？などと日本のことや言葉などにも興味を持ってくれていて、日本のことを少しでも知ろうとしてくれるのだと思うとすごく心が暖かくなります。

この1ヶ月で改めて気づかされたこと、そして新しく気づかされたことが沢山ありました。このように気づける環境を与えてくださった町民の方々、そしてカナダのホワイトコート町の方々に感謝します。これから先、もっともっと沢山の経験をして自分の中に新しいものを取り入れ、残りの約1ヶ月、毎日の感謝を忘れず、一瞬、一瞬を大切に過ごしていきたいと思いません。

カナダで過ごした日々

湧別高校 1年 佐々木 遥

私は8月31日から11月8日までの約2ヵ月間をカナダで過ごしてきました。カナダでは今まで体験のしたことのないようなことが沢山ありました。その中でも自分の中で、色濃く残ったものをいくつか紹介しようと思います。

私は不安だらけでカナダに出発しました。出発する際に飛行機が遅れるというハプニングがありましたが、周りの支えのおかげで無事カナダに着くことができました。そこで、沢山の人の支えがあって過ごして居るのだということに改めて気づくことができました。カナダのエドモントンの空港では、カナダの家族が笑顔で出迎えてくれました。その瞬間に自分の中にあった不安な気持ちを取り除かれました。そこでは家族の大切さに気づくことができました。数日後、私はホワイトコート町にあるヒルトップハイスクールに留学生として通い始めました。始めは右も左もわからず、そして、自分が受ける授業の教室もわからないような状態で、英語の単語を発するのが精一杯でした。ですが、カナダの人達は私の話す英語を最後までしっかり聞いてくれて、私にわかるようにゆっくりと話してくれて、視線をしっかりと合わせて話してくれました。また、デンマーク出身の女の子が沢山話しかけてくれてとても親しくなることができ、更には私の分からないことがあると私にも分かる様に身振り手振りなどの沢山の方法で説明をしてくれました。私達は同じ留学生ということで仲が良くなり、沢山遊び、沢山のお話をし、沢山ふざけながら二人だけの思い出を沢山作りしました。そこでは、今まであまり経験をする事の出来なかった温かい感情を沢山感じる事が出来ました。

私の通っていた高校には色々な国から来た人達がいる、とても個性的でとても面白かったです。その中でも沢山の個性をみることのできる場面がありました。それは、ドラマというクラスと、アートというクラスです。ドラマというクラスは劇や即興でコントなどをしますが、そのコントでは自身の持ちネタを出したりしていて、とても面白かったです。また、アートというクラスは先生から出される課題に対して、自分好みに絵を描いたり、色を塗ったりするのですが、そこでは沢山の磨かれたセンスをみる事が出来ました。そこでは今まで絵を描くのにあまり興味がなかった私ですが、自ら進んで絵を描きたいと思うようになりました。

この他にもまだまだ書ききれないくらいの思い出が沢山ありますが、私の中で涙が溢れるくらい感動させられたできごとがあります。それは、学校最後の日にドラマのクラスとアートのクラスの皆が、メッセージを書いたTシャツと、私と過ごした2ヵ月間のエピソード一つ一つが書かれたピローケースをプレゼントしてくれました。そして数学のクラスでは私を拍手で迎えてくれて、私のために用意してくれた、カップケーキとお菓子を食べながら映画を見ました。始めはわからなかった数学ですが、先生や友だちが丁寧に教え

てくれて、出来る様になり、数学がとても好きになりました。私のために沢山のサプライズをしてくれた心の温かい皆と会うことが出来て本当に感謝しています。

最後に、私を受け入れてくれたホストのネンザファミリー、私に沢山の英語を教えてくれてありがとう。私のために沢山の思い出をありがとう。私はネンザファミリーに出会えた事を感謝すると共に、ネンザファミリーが末永く幸せに笑顔で過ごせる事を、遠くから願っています。

I Love Nendsa family.....

I wish you all happiness....

Thank you so much....